国史跡 秀吉本陣跡（平井山ノ上付城跡）コース

■コース紹介

三木合戦の際、羽柴秀吉が本陣とした秀吉本陣跡、その本陣の北側の守備を担っていた竹中半兵衛陣所跡などを巡るコースです。

■秀吉本陣跡（平井山ノ上付城跡：平成25年3月国史跡指定）

三木合戦の際、羽柴（後の豊臣）秀吉が本陣とした付城です。美嚢川と志染川の間に挟まれた山上に位置し、南西に三木城を望むことができます。

天正６年（1578）7月、織田信長の長男、信忠が三木城を支援する神吉城や志方城（ともに加古川市）を攻略した後、築城したとされています。8月に羽柴秀吉が入ると、10月15日に津田宗及を招いて茶会を開催しました。同22日に別所方が襲来して合戦が繰り広げられましたが、別所長治の弟別所治定らが討死するなど、別所方の敗北に終わっています。

コース　約6.5km

1時間30分
（見学時間を除く）

所要時間の目安

起点　恵比須駅

30分

1 竹中半兵衛の墓

5分

2 秀吉本陣跡（登城口）

10分

3 竹中半兵衛陣所跡

45分

終点　恵比須駅

竹中半兵衛の墓

三木城攻防戦の最中、三木の陣中で病死しました。

秀吉本陣跡

（国史跡）（平井山ノ上付城跡）

三木合戦の際、羽柴秀吉が本陣とした付城です。主郭から南西に三木城を望むことが出来ます。

竹中半兵衛陣所跡

（平井村中村間ノ山付城跡）

三木合戦の際、秀吉本陣の北側守備を担っていました。「播磨鑑」「別所軍記」によると城主は竹中半兵衛とされています。